

令和8年度 松戸市立常盤平中学校 学習の指針(シラバス)

教科	理科	学年	1年
----	----	----	----

1 学習の目的

自然の事物現象に関わり、理科の見方・考え方を働かせ、見通しを持って観察・実験を行うことなどを通して、自然の事物現象を科学的に探究するために必要な資質能力を育成する。

2 学習計画

	学習内容	学習のねらい
1 学期	<p>[生命]いろいろな生物のその共通点</p> <p>1章 植物の特徴と分類</p> <p>①花のつくり</p> <p>②子葉、葉、根のつくり</p> <p>③種子をつくらない植物</p> <p>④植物の分類</p> <p>2章 動物の特徴と分類</p> <p>①動物の体のつくりと生活</p> <p>②背骨のある動物</p> <p>③背骨のない動物</p> <p>④動物の分類</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・いろいろな生物の共通点と相違点に着目しながら、生物の観察と分類の仕方、生物の体の共通点と相違点を理解するとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付ける。 ・身近な生物についての観察、実験などを通して、いろいろな生物の共通点や相違点を見いだすとともに、生物を分類するための観点や基準を見いだして表現する。 ・いろいろな生物とその共通点に関する事物・現象に進んで関わり、科学的に探究しようとする態度と、生命を尊重し、自然環境の保全に寄与する態度を養うとともに自然を総合的に見るようになる。
2 学期	<p>[物質]身のまわりの物質</p> <p>1章 いろいろな物質とその性質</p> <p>①物質の区別</p> <p>②重さ・体積と物質の区別</p> <p>2章 いろいろな気体とその性質</p> <p>①気体の区別</p> <p>②身のまわりのものから発生した気体の区別</p> <p>3章 水溶液の性質</p> <p>①物質のとけ方</p> <p>②濃さの表し方</p> <p>③溶質のとり出し方</p> <p>4章 物質のすがたとその変化</p> <p>①物質のすがたの変化</p> <p>②状態変化と温度</p> <p>③混合物の分け方</p> <p>[エネルギー]光・音・力による現象</p> <p>1章 光による現象</p> <p>①光の進み方</p> <p>②光が通りぬけるときのような様子</p> <p>③レンズのはたらき</p> <p>2章 音による現象</p> <p>①音の伝わり方</p> <p>②音の大小と高低</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・身のまわりの物質の性質や変化に着目しながら、物質のすがたとおよび状態変化、水溶液のことを理解するとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付ける。 ・身のまわりの物質について、問題を見だし見通しをもって観察、実験などを行い、物質の性質や状態変化における規則性を見いだして表現する。 ・身のまわりの物質に関する事物・現象に進んで関わり、科学的に探究しようとする態度を養うとともに自然を総合的に見るようになる。 ・身近な物理現象を日常生活や社会と関連付けながら、光と音、力の働きを理解するとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付ける。 ・身近な物理現象について、問題を見だし見通しをもって観察、実験などを行い、光の反射や屈折、凸レンズの働き、音の性質、力の働きの規則性や関連性を見いだして表現する。

	<p>3章 力による現象</p> <p>①力のはたらき</p> <p>②力の大きさのはかり方</p> <p>③力の表し方</p> <p>④1つの物体に2つの力がはたらくとき</p>	<p>・身近な物理現象に関する事物・現象に進んで関わり、科学的に探究しようとする態度を養うとともに自然を総合的に見ることができるようになる。</p>
3 学 期	<p>[地球] 活きている地球</p> <p>1章 身近な大地</p> <p>①身近な大地の変化</p> <p>②地域の大地の観察</p> <p>2章 ゆれる大地</p> <p>①地震の発生とゆれの伝わり方</p> <p>②ゆれの大きさ</p> <p>③日本列島の地震</p> <p>3章 火をふく大地</p> <p>①火山の噴火</p> <p>②マグマの性質と火山</p> <p>③マグマからできた岩石</p> <p>4章 語る大地</p> <p>①地層のでき方と広がり</p> <p>②地層の岩石</p> <p>③地層・化石と大地の歴史</p> <p>④大地の恵みと災害</p>	<p>・大地の成り立ちと変化について、問題を見いだし見通しをもって観察、実験などを行い、地層の重なり方や広がり方の規則性、地価のマグマの性質と火山の形との関連性を見い出して表現する。</p> <p>・大地の成り立ちと変化に関する事物・現象に進んで関わり、科学的に探究しようとする態度と、生命を尊重し、自然環境の保全に寄与する態度を養うとともに、自然を総合的に見ることができるようになる。</p> <p>・大地の成り立ちと変化を地表に見られる様々な事物・現象と関連付けながら、身近な地形や地層、岩石の観察、地層の重なりと過去の様子、火山と地震、自然の恵みと火山災害・地震災害を理解するとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付ける。</p>

3 評価

項目	評価の内容	評価の方法
知識・技能	<p>・その学習で示されている科学的知識の習得や、規則性・関係性を理解できているか。</p> <p>・実験の操作や器具の使い方などの技能に関する知識が定着しているか。</p>	<p>・定期試験</p> <p>・小テスト</p> <p>・ワークシート</p> <p>・ワーク(加点材料)</p>
思考・判断・表現	<p>・既習事項や日常体験などの根拠をもとに観察、実験結果を予想することができるか。</p> <p>・結果に基づいて論理的に考察を進め、文章、その他の方法で自分の考えを表現することができるか。</p>	<p>・定期試験</p> <p>・小テスト</p> <p>・ワークシート</p> <p>・授業ノート(加点材料)</p>
主体的に 学習に取り組む態度	<p>・日常生活でみられる事象や、これまでの自分の経験を関連されることなどを意欲的に考えようとしているか。</p> <p>・これまでの学習を振り返って課題を自ら見出そうとしているか。</p>	<p>・定期試験</p> <p>・ワークシート</p> <p>・疑問シート</p>

4 「確かな学力」のためのアドバイス

1. 理科の学習について

理科の中身は大きく分けて、「エネルギー(物理)」「物質(化学)」「生命(生物)」「地球(地学)」の4分野に分けられます。理科では各学年で、それぞれの分野を少しずつ、すべて学習していきます。

2. 授業のきまり

- ① 授業準備は休み時間に済ませ、原則2分前には着席してください。理科室への移動はスムーズにしましょう。
- ② 忘れ物をした場合は、授業前に先生に申し出て下さい。
- ③ 提出物は、決められた期限までに終わらせて提出してください。
- ④ 理科室では先生の指示が通るように無駄なおしゃべりをしないようにしましょう。

3. 授業で使う道具

- ① 教科書 …… 図や写真を見たり、QRコードを読み取ったりして、理解を深められます。
- ② ノート(ファイル) …… 配付されたプリントを貼ったりはさんだりしてまとめます。
- ③ 筆記用具 …… 鉛筆やシャープペン・消しゴム・色ペンを使いましょう。
- ④ タブレット PC …… 学校で個別に貸与されている PC を使用します。

4. 授業中の少人数学習

- ① 理科室での実験班は4人組になって行います。実験を行う前に役割分担をします。
- ② 教室でのグループワークの際も理科の4人班で行います。

5. 家庭学習

- ① 各自学習した範囲のワークを進めましょう。
- ② ①を終了した人は2周目、3周目を行いましょう。

令和8年度 松戸市立常盤平中学校 学習の指針(シラバス)

教科	理科	学年	2年
----	----	----	----

1 学習の目的

自然の事物現象に関わり、理科の見方・考え方を働かせ、見通しを持って観察・実験を行うことなどを通して、自然の事物現象を科学的に探究するために必要な資質能力を育成する。

2 学習計画

	学習内容	学習のねらい
1 学 期	<p>[物質]化学変化と原子・分子</p> <p>1章 物質の成り立ち</p> <p>① 物質を加熱した時の変化</p> <p>② 水溶液に電流を流した時の変化</p> <p>③ 物質のもとになる粒子</p> <p>④ 原子が結びついてできる粒子</p> <p>2章 物質の表し方</p> <p>① 物質を表す記号</p> <p>② 物質を表す式</p> <p>③ 化学変化を表す式</p> <p>3章 さまざまな化学変化</p> <p>① 物質どうしが結びつく変化</p> <p>② 物質が酸素と結びつく変化</p> <p>③ 酸化物から酸素を取り除く変化</p> <p>④ 化学変化と熱の出入り</p> <p>4章 化学変化と物質の質量</p> <p>① 化学変化の前後での物質の質量</p> <p>【探究実験】</p> <p>② 反応する物質どうしの質量の割合</p> <p>[生命]生物の体のつくりとはたらき</p> <p>1章 生物の体をつくるもの</p> <p>① 生物の体の成り立ち</p> <p>② 細胞のつくり</p> <p>③ 細胞のはたらき</p> <p>2章 植物の体のつくりとはたらき</p> <p>① 栄養分をつくる</p> <p>② 植物の呼吸</p> <p>③ 水や栄養分を運ぶ</p>	<p>・化学変化を原子や分子のモデルと関連付けながら、物質の成り立ちおよび化学変化、化学変化と物質の質量のことを理解するとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付ける。</p> <p>・化学変化について、見通しをもって解決する方法を立案して観察、実験などを行い、原子や分子と関連付けてその結果を分析して解釈し、化学変化における物質の変化やその量的な関係を見いだして表現する。</p> <p>・化学変化と原子・分子に関する事物・現象に進んで関わり、科学的に探究しようとする態度を養うとともに、自然を総合的に見るようになる。</p>
2 学 期	<p>3章 動物の体のつくりとはたらき</p> <p>① 栄養分をとり入れる</p> <p>② 動物の呼吸</p> <p>③ 不要な物質のゆくえ</p> <p>④ 物質を運ぶ</p> <p>4章 動物の行動としくみ</p> <p>① 感じとるしくみ</p> <p>② 刺激の信号を伝えたり反応したりするしくみ【探究実験】</p>	<p>・生物の体のつくりと働きに関する事物・現象に進んで関わり、科学的に探究しようとする態度と、生命を尊重し、自然環境の保全に寄与する態度を養うとともに、自然を総合的に見るようになる。</p>

	<p>③運動のしくみ</p> <p>[エネルギー]電流とその利用</p> <p>1章 電流の性質</p> <p>① 電流が流れる道筋</p> <p>② 回路に流れる電流【探究実験】</p> <p>③ 回路に加わる電圧</p> <p>④ 電圧と電流の関係</p> <p>⑤ 電流、電圧、電気抵抗の求め方</p> <p>⑥ 電流のはたらきを表す量</p> <p>3章 電流と磁界</p> <p>① 磁界</p> <p>② モーターのしくみ</p> <p>③ 発電機のしくみ</p> <p>2章 電流の正体</p> <p>① 静電気</p> <p>② 静電気と電流の関係</p> <p>③ 電流の正体</p> <p>④ 放射線の発見とその利用</p>	<p>・電流、磁界に関する事物・現象を日常生活や社会と関連付けながら、電流、電流と磁界のことを理解するとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付ける。</p> <p>・電流、磁界に関する現象について、見通しをもって解決する方法を立案して観察、実験などを行い、その結果を分析して解釈し、電流と電圧、電流の働き、静電気、電流と磁界の規則性や関係性を見いだして表現する。</p> <p>・電流とその利用に関する事物・現象に進んで関わり、科学的に探求しようとする態度を養うとともに、自然を総合的に見ることができるようになる。</p> <p>・直列回路・並列回路に流れている電流の大きさは、それぞれ場所によってどのようになっているのか、仮説を立て、仮説を確かめるためにどのような実験を行えばよいか探究活動を行い、回路の規則性を見出す。</p>
3 学 期	<p>[地球]地球の大気と天気の変化</p> <p>1章 地球をとり巻く大気の様子</p> <p>① 大気の中ではたらく力</p> <p>② 大気の様子を観測する</p> <p>2章 空気中の水の変化</p> <p>① 霧のでき方</p> <p>② 雲のでき方</p> <p>③ 空気中に含まれる水蒸気量</p> <p>3章 天気の変化と大気の動き</p> <p>① 風がふくしくみ</p> <p>② 大気の動きによる天気の変化</p> <p>③ 地球規模での大気の動き</p> <p>4章 大気の動きと日本の四季</p> <p>① 日本の季節による天気の特徴をもたらすもの</p> <p>② 日本の四季の天気</p> <p>③ 天気の変化がもたらす恵みと災害</p>	<p>・気象要素と天気の変化との関係に着目しながら、気象観測、天気の変化、日本の気象、自然の恵みと気象災害を理解するとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付ける。</p> <p>・気象とその変化について、見通しをもって解決する方法を立案して観察、実験などを行い、その結果を分析して解釈し、天気の変化や日本の気象についての規則性や関係性を見いだして表現する。</p> <p>・気象とその変化に関する事物・現象に進んで関わり、自然を科学的に探求する活動を行い、科学的に探求しようとする態度を養うとともに、生命を尊重し、自然環境の保全に寄与する態度を育て、自然を総合的に見ることができるようになる。</p>

3 評価

項目	評価の内容	評価の方法
知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> ・その学習で示されている科学的知識の習得や、規則性・関係性を理解できているか。 ・実験の操作や器具の使い方などの技能やそれに関する知識が定着しているか。 ・探究の過程に沿って学習し、得た知識を別の場面でも活用しているか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・定期試験 ・小テスト ・実験グラフ、スケッチ ・ワークシート(探究の過程も含む)
思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> ・既習事項や日常体験などの根拠をもとに観察、実験結果を予想することができるか。 ・結果に基づいて論理的に考察を進め、文章、その他の方法で自分の考えを表現することができるか。 ・探究の過程で得た情報を比較・検討し、適切に判断しているか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・定期試験 ・実験考察 ・小テスト ・ワークシート(探究の過程も含む)
主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> ・日常生活でみられる事象や、これまでの自分の経験に関連されることなどを意欲的に考えようとしているか。 ・これまでの学習を振り返って課題を自ら見出そうとしているか。 ・問いをもちながら探究を進め、自らの学びを深めているか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・定期試験 ・行動観察 ・自主学习 ・疑問シート ・ワークシート(探究の過程も含む)

4 「確かな学力」のためのアドバイス

<p>1. 理科の学習について</p> <p>理科の中身は大きく分けて、「エネルギー(物理)」「物質(化学)」「生命(生物)」「地球(地学)」の4分野に分けられます。理科では各学年で、それぞれの分野を少しずつ、すべて学習していきます。</p> <p>2. 授業のきまり</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 授業準備は休み時間に済ませ、2分前には着席してください。理科室の移動はスムーズにしましょう。 ② 忘れ物をした場合は、授業前に先生に申し出て下さい。 ③ 提出物は、決められた期限までに終わらせて提出してください。 ④ 理科室では先生の指示が通るように無駄なおしゃべりをしないようにしましょう。 <p>3. 授業で使う道具</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 教科書・・・図や写真をみて理解を深めます。 ② ファイル、ノート・・・配付されたプリントを整理するために使用します。 ③ 筆記用具・・・鉛筆・消しゴム・のり・色ペンを忘れず用意してください。 ④ タブレット PC・・・学校で配付されている PC を使います。 <p>4. 授業中の少人数学習</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 理科室での実験班は2, 3人組で行う。(12班集体) 実験を行う前に役割分担をします。 ② 教室でのグループワークの際は理科室の4人班とは別ですが、原則4人か6人の班で行います。 <p>5. 家庭学習</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 各自学習した範囲のワークを進めます。 ② ①を終了した人は2周目、3周目や自分で用意した参考書等で学習(自主学习)を行います。
--

令和8年度 松戸市立常盤平中学校 学習の指針(シラバス)

教科	理科	学年	3年
----	----	----	----

1 学習の目的

自然の事物現象に関わり、理科の見方・考え方を働かせ、見通しをもって観察・実験を行うことなどを通して、自然の事物現象を科学的に探究するために必要な資質能力を育成する。

2 学習計画

	学習内容	学習のねらい
1 学 期	<p>[生命] 生命の連続性</p> <p>1章 生物のふえ方と成長</p> <p>①生物のふえ方</p> <p>②細胞のふえ方</p> <p>2章 遺伝の規則性と遺伝子</p> <p>①親の特徴の伝わり方</p> <p>②遺伝のしくみ</p> <p>③遺伝子の本体</p> <p>3章 生物の種類の多様性と進化</p> <p>①生物の共通性と多様性</p> <p>②進化の証拠</p> <p>③生物の移り変わりと進化</p>	<p>・観察などを通して、生物のふえ方には無性生殖と有性生殖の2つがあり、その違いを理解する。</p> <p>・種子から根がのびる様子の観察や、細胞分裂の観察を通して、生物の成長を細胞の分裂と関連づけて捉え、有性生殖における減数分裂について理解する。</p> <p>・生物がふえていくとき、染色体にある遺伝子を介して親から子へ形質が伝わること、そしてその伝わり方に規則性があることを理解する。</p> <p>・現存の生物や化石の比較などを通して、現存の多様な生物は過去の生物が長い時間の経過の中で変化して生じてきたものであることを、体のつくりと関連づけて理解する。</p> <p>・生物の間のつながりを時間的に見ることを通して、進化の概念を捉える。</p>
	<p>[物質] 化学変化とイオン</p> <p>1章 水溶液とイオン</p> <p>①水溶液にすると電流が流れる物質</p> <p>②電解質の水溶液に電流が流れたときの変化</p> <p>③電気を帯びた粒子の正体</p> <p>2章 電池とイオン</p> <p>①金属のイオンへのなりやすさ</p> <p>②電池のしくみ</p> <p>③日常生活と電池</p> <p>3章 酸・アルカリと塩</p> <p>①酸性やアルカリ性の水溶液の性質</p> <p>②酸性やアルカリ性の性質を決めているもの</p> <p>③酸性やアルカリ性の強さ</p> <p>④酸とアルカリを混ぜたときの変化</p> <p>⑤イオンで考える中和</p>	<p>・水溶液の電気伝導性を調べる実験を行い、水溶液には電流が流れるものと流れないものがあることを見だし、理解する。</p> <p>・電解質水溶液の電気分解の実験を行い、電極に物質が生成することからイオンの存在を見だし、イオンの生成が原子の成り立ちに関係することを理解する。</p> <p>・金属イオンについての実験を行い、金属によってイオンへのなりやすさが異なることを見だし、イオンのモデルと関連づけて理解する。</p> <p>・電池を製作し、電池では化学エネルギーが電気エネルギーに変換されていることに気づかせながら、イオンのモデルを用いて電池の基本的なしくみを説明する。</p> <p>・いろいろな電池に関心をもたせ、燃料電池の原理についても理解する。</p> <p>・酸やアルカリの水溶液を用いた実験を行い、酸やアルカリのそれぞれの性質が水素イオンと水酸化物イオンによることを見だし、電離のようすをイオンのモデルを用いて説明する。</p> <p>・中和反応の実験により、酸とアルカリが反応すると塩と水ができることを見だすとともに、中和反応をイオンのモデルを使って説明する。</p>

<p>2 学 期</p>	<p>[エネルギー] 運動とエネルギー 1章 力の合成と分解 ①水中の物体にはたらく力 ②力の合成 ③力の分解 2章 物体の運動 ①運動の表し方 ②水平面上での物体の運動 ③斜面上の物体の運動 ④物体間での力のおよぼし合い 3章 仕事とエネルギー ①仕事 ②エネルギー ③位置エネルギーと運動エネルギー 4章 多様なエネルギーとその 移り変わり ①エネルギーの種類 ②エネルギーの変換と保存 5章 エネルギー資源とその利用 ①生活を支えるエネルギー ②エネルギー利用上の課題 ③エネルギーの有効利用 [地球] 宇宙を観る 1章 宇宙の天体 ①太陽 ②太陽系 ③宇宙の広がり 2章 太陽と恒星の動き ①太陽の動き ②星座の星の動き 3章 月と金星の動きと見え方 ①月の動きと見え方 ②金星の動きと見え方</p>	<p>・水中にある物体には浮力がはたらくことを見だし、重力と浮力のつり合いの関係から、浮き沈みのしくみを理解する。 ・作図によって合力を求めることができる。 ・作図による分力の求め方を理解する。 ・記録タイマーなどを使って、物体の速さや運動のようすを調べる方法を身につけ、物体にはたらく力と運動の関係を理解する。 ・仕事の定義を理解させ、仕事の原理を見いだす。 ・仕事をやる能力としてエネルギーがあり、位置エネルギーや運動エネルギーの大きさと、物体の高さや質量、速さとの関係を見いだす。 ・摩擦や空気の抵抗がなければ、力学的エネルギーが保存されることを理解する。 ・身のまわりの様々なエネルギーについて気づき、それらのエネルギーがどのように移り変わるか理解するとともに、エネルギーの総量は一定に保たれることを理解する。 ・人間は多様なエネルギー資源を消費して活動していることを知り、将来にわたってエネルギー資源を確保し、安全で有効な利用と環境保全をはかることの重要性を認識する。 ・太陽の観察を行い、その観察記録や資料から、太陽の形や大きさ、表面のようすなどの特徴を見いだして理解する。 ・観測資料などから、惑星と恒星の特徴や太陽系の構造を理解する。 ・太陽の表面を観察・記録する技能を身につける。 ・太陽や星座の日周運動の観察を行い、天体の日周運動が地球の自転による相対運動であることを理解する。 ・季節ごとの星座の位置の変化や太陽の南中高度の変化を調べ、それらの観察記録を、地球の公転や地軸の傾きと関連づけて理解し、天体の動きを観察する技能を身につける。 ・月や金星の観察記録などから、見え方を月や金星の公転と関連づけて理解するとともに、月や金星の動きや形を観察・記録する技能を身につける。</p>
<p>3 学 期</p>	<p>[環境] 自然と人間 1章 自然界のつり合い ①生物どうしのつながり ②生態系における生物の数量的関係 ③生物の遺骸のゆくえ ④生物の活動を通じた物質の循環 2章 さまざまな物質の利用と人間 ①天然の物質と人工の物質 ②プラスチック</p>	<p>・植物、動物および微生物を、栄養摂取の面から相互に関連づけて捉え、自然界では、これらの生物がつり合いを保って生活していることを、観察などを通して見だし、理解する。 ・日常生活や社会では、様々な物質が使用目的や用途に応じて使い分けられていることを認識させ、物質を有効利用するためには、物質の再利用などが大切であることに気づく。</p>

<p>3章 科学技術と人間 ①科学技術の発展の歴史 ②現在のくらしとこれからの科学技術</p> <p>4章 人間と環境 ①身近な自然環境の調査 ②自然が人間の生活におよぼす影響 ③人間の活動と自然環境</p> <p>5章 持続可能な社会を目指して ①これからの社会を担う</p>	<p>・科学技術の発展の過程について理解させ、様々な科学技術の利用が人間の生活を豊かで便利にしていることを認識する。 ・最新の科学技術について調べさせ、これからの科学技術の発展の方向性を、科学的根拠をもって検討する。</p> <p>・身近な自然環境や地域の自然災害を調べる活動を行い、人間の活動などの様々な要因が自然環境に影響を与えることについて理解し、自然環境を保全することの重要性を認識する。 ・大地の特徴を理解し、自然を多面的、総合的に捉え、自然と人間の関わり方について、科学的に考察して判断する能力や態度を身につける。</p> <p>・科学技術の発展と人間生活との関わり方について多面的、総合的に捉え、自然環境の保全と科学技術の利用のあり方について科学的に考察し、持続可能な社会をつくることの重要性を認識する。</p>
---	---

3 評価

項目	評価の内容	評価の方法
知識・技能	<p>・その学習で示されている科学的知識の習得や、規則性・関係性を理解できているか。</p> <p>・実験の操作や器具の使い方などの技能を習得し、関連する知識が定着しているか。</p>	<p>・定期試験</p> <p>・単元テスト</p> <p>・小テスト</p>
思考・判断・表現	<p>・既習事項や日常体験などの根拠をもとに観察、実験結果を予想することができるか。</p> <p>・結果に基づいて論理的に考察を進め、文章やその他の方法で自分の考えを表現しているか。</p>	<p>・定期試験</p> <p>・単元テスト</p>
主体的に学習に取り組む態度	<p>・日常生活でみられる事象や、これまでの経験に関連することなどを、意欲的に考えようとしているか。</p> <p>・これまでの学習を振り返り、課題や疑問を自ら見出そうとしているか。</p>	<p>・定期試験</p> <p>・単元テスト</p> <p>・行動観察</p> <p>・自主学習</p> <p>・ノート</p> <p>・疑問シート</p>

4 「確かな学力」のためのアドバイス

1. 理科の学習について

理科の中身は、「エネルギー(物理)」「物質(化学)」「生命(生物)」「地球(地学)」の分野に分けられ、3年生には「環境」の分野も含まれます。理科の授業では、各学年でそれぞれの分野を少しずつ、すべて学習していきます。

2. 授業のきまり

- ① 授業準備は休み時間に済ませ、2分前には着席してください。理科室の移動はスムーズにしましょう。
- ② 忘れ物をした場合は、授業前に先生に申し出て下さい。
- ③ 提出物は、決められた期限までに終わらせて提出してください。
- ④ 理科室では先生の指示が通るように私語を慎みましょう。

3. 授業で使う道具

- ① 教科書 …… 図や写真を見たり、QRコードを読み取ったりして、理解を深められます。
- ② ノート、ファイル …… 配付されたプリントを自分なりにまとめたり、調べたことを書いたりします。
- ③ 筆記用具 …… 鉛筆・消しゴム・のりを忘れず用意してください。
- ④ タブレット PC …… 学校で配付されている個人のタブレット PC を使います。

4. 授業中の少人数学習

- ① 理科室での実験班は4人組になって行う。実験を行う前に役割分担をします。
- ② 教室でのグループワークの際も理科の4人班で行います。

5. 家庭学習

- ① 各自学習した範囲のワークを進めます。
- ② ①を終了した人は2周目、3周目を行います。